

SHOWA GAKUIN

昭和学院 広報

第12号

2013. 3. 5(火)

昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171-5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js FAX 047-326-5310

沖縄校外教育

～琉球文化にふれて～



おきなわワールドにて

高校2年生は、2月11日～14日(1班)、12日～15日(2班)の日程で沖縄で校外教育を行った。沖縄は江戸時代までは琉球王国という独立国家で、交易の拠点であった。文化交流も盛んで、文化・言語・食べ物に独自性がある。第二次世界大戦では米軍の攻撃を受け、多数の犠牲者を出した。その後、70年代に返還されるまで米国の占領下であり、今も米軍基地の問題を抱える。

生徒達は、夏休みに沖縄についての調べ学習を行った上で校外教育に臨んだ。特に国内屈指の長寿県であるからか、食への興味を持つ生徒が多かった。

1 日 目

午前7時に羽田第2ターミナルに集合し、8時半に羽田を飛び立った。那覇到着は11時20分である。市川より暖かい南国の気候を予想はしていたものの、初夏のような気温と風景に皆驚いていた。まず、「おきなわワールド」に向かう。ここは、沖縄の文化や自然に触れることのできるテーマパークである。バイキング形式の昼食を摂った後、天然記念物の玉泉洞(鍾乳洞)



ちゅい
沖縄美ら海水族館にて

を見学し、伝統芸能を盛り込んだエイサーショーを楽しむなど、沖縄の魅力を見つける機会を持った。この日の宿泊は、古都首里の丘にあるホテル日航那覇グランドキャッスルである。夕食後、平和講話の時間を持った。民間人として沖縄で第二次世界大戦を経験された吉嶺全一さんをお迎えし、校歌斉唱の後、お話を伺った。平和の尊さを改めて知る貴重な時間であった。校外教育の四日間で体感した戦争の悲惨さは、生徒達の日常と隔絶していて、皆、言葉を失い、涙をこぼす生徒もいた。



まぶに いしじ
摩文仁の丘の平和の礎にて

SHOWA GAKUIN

沖縄校外教育

2日目



いとかす
糸数アブチラガマにて千羽鶴を奉納

2日目は、午前6時起床、7時に朝食を摂った後、8時に出発して、「平和学習コース」へと向かった。穏やかな気候の中、生徒達はリラックスしていた。

コースは、糸数アブチラガマ～摩文仁の丘・平和祈念資料館～ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館～旧海軍司令部壕である。糸数アブチラガマでは、各クラスで用意した千羽鶴を奉納し、黙祷を捧げた。資料館や史跡を巡り、眼前に広がる惨劇の様子を写した写真やその傷跡につぶさに触れ、映画やゲームでは映し出されない光景に絶句していた。

平和の中にあるとそのありがたみを実感するのは難しい。平和が不断の努力によって成立しているのだと痛感する一日となった。この日から宿泊先がリゾートパークホテルとなった。沖縄海岸国定公園内、恩納村谷茶に位置するリゾートホテルで、隣接する天然のロングビーチに生徒達は目を張っていた。

3日目

3日目は、沖縄の自然を体験する1日であった。

午前は、東村で「カヌー体験・マリンクラフトプログラム」が実施された。カヌーではびしょ濡れになりながら、2人1組になって楽しい一時を過ごした。マリンクラフトはウップマビーチで拾った貝殻やサンゴのかけらを使った工作である。皆、工夫を凝らして可愛い作品を作っていた。



ひがしそん
東村でのカヌー体験

昼食はアグー豚を使った沖縄料理に舌鼓をうった。

午後は、沖縄美ら海水族館の見学である。巨大な水槽の前で、皆、唖然としていた。それを尻目に悠然と泳ぐ魚たち。「私達が観察されてるみたいだね」と笑う生徒もいた。夜は、1・2班が合流し、夕食後にレクリエーションを行った。クラスごとにパフォーマンスを発表し、ダンスやクイズで会場は終始大盛況であった。

4日目

最終日は、琉球王国の栄華を物語る首里城公園を散策した。その後、国際通りで班別自主研修を行った。旅行者でにぎわう通りの様子を見ながら「沖縄が琉球だったときも、今の私達と同じように観光客がいて、買い物を楽しんでいたのかも」と言う生徒もいた。昼食を自由にとり、最後まで沖縄を満喫していた。



首里城公園にて

今回の校外教育は、史跡を「駆け抜ける」ものではなく、「丁寧に止まって見る」ものであった。沖縄の歴史・文化・自然を体験した。平和学習を通して、戦争を考える機会ももらった。クラスの絆も深まり、高校生活の良い思い出となったであろう。

百人一首大会



真剣勝負の高校本選

百人一首大会が、中学では2月15日(金)に第3アリーナで、高校では2月18日(月)に自習室で開催され、結果は次のようになった。

中学 優勝：1年1組、2年3組、3年1組
第2位：1年2組、2年2組、3年5組
第3位：1年4組、2年5組、3年2組

高校 優勝：2年A組
第2位：2年B組
第3位：1年C組



高校本選出場クラスは、上の句で机を取る生徒ばかりで、まさに真剣勝負であった。中学校は皆で雰囲気よく、楽しんで行う姿が見られた。

優勝、第2位、第3位のクラスには賞状が渡された。



熱気あふれる中学校

書き初め展

今年の千葉県小中高校書き初め展の課題は、中1「青雲の志」・中2「早春の梅花」・中3「福寿草の花」・高校生「白水満春塘」。

地区審査の結果、高3 橋本歩さん、中3 高木夏菜恵さん、中1 塚本あかりさんの3名が代表として1月27日の中央席書大会に臨んだ。



その結果、塚本さんが市川市長賞の栄誉に輝いた。

また、校内書き初め展では書屋会賞と特選の作品を展示し、その中から校長賞として高1 新町沙彩さん、中2日暮真実子さんの作品が選ばれた。新年にふさわしい元氣ある堂々とした作品が目立った。



席書大会に臨む高木さんと塚本さん



代表3名の作品

SHOWA GAKUIN

生徒会耐寒スポーツ大会



昨年に引き続き本年度も、耐寒スポーツ大会は生徒会・生徒指導部・体育科合同主催で中学校が2月14日(木)、高校1年生が2月15日(金)、高校2年生が2月19日(火)に開催されました。全校、ハの字大縄跳びを実施しました。今年は、すべてメインアリーナで行われました。中学校と高校1年生の実施された日が高校2年生の修学旅行と重なってしまい、高校1年生の生徒会・中学校の

生徒会が初めて協力して行われた会でもありました。生徒副会長の佐々くんは「高校2年生の先輩方が居なくてとても緊張しましたが、先生や生徒の皆が協力してくれたので大きな問題も起こらず楽しんで出来ました」と笑顔で感謝の言葉を述べていました。これからの生徒会の活動も注目です。

競技成績は、以下の通りです。

- [中学校] 1位 1の3
- 2位 3の3
- 3位 1の1
- [高校1年] 1位 C組
- 2位 L組
- 3位 A組
- [高校2年] 1位 E組
- 2位 B組
- 3位 I組



世界へ羽ばたく 昭和学院生

ライフセービング 高校3年 富澤 泰介さん

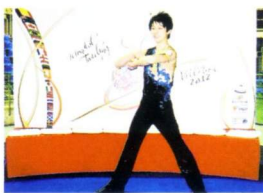
ライフセービング世界大会出場

(2012年11月8日~12日 オーストラリア・アデレードにて)

ライフセービングの目的は「水の事故を未然に防ぐこと」。大会ではそのための技術を磨き競い合う。もともと競泳をやっていた富澤くんは、高2の夏に先輩の勧めもありこの競技を始めた。みるみる頭角を現し、昨年の11月に世界大会に出場。中でも〈プール〉の4人で行うメドレーリレーは銅メダル、マネキンリレー(マネキンの口と鼻が水中につかないように、速く運ぶ)は銀メダルを獲得。海の(オーシャン競技)ではオーシャンマンリレー(①スイム②ボード③サーフスキー④ラン)で4位入賞。毎週末、館山の海で練習を重ねているという。「プールと海は全く感覚が違い、この競技は奥が深く楽しいので自分はずっと続けていく。興味のある人はぜひやってほしい。」と明るい笑顔で答えた。



メダルを持って(左から2人目が富澤くん)



フランス・パリの会場にて

バトン 高校2年 関 翔太さん

第31回世界大会バトントワリング選手権大会

(2012年8月2日~5日 フランス・パリ近郊にて)

小学校4年生からバトンを始めた。バトンは難しいけれど技が一つ出来るようになったときの感動は何とも言えないという。パリの世界大会出場選手に選ばれたときはあまりにも驚き、その場から立てなかった。いつも本番前、自分に言い聞かせる言葉がある。それは「楽しむ」、「(バトン)取る・取ってやる」。でも初めての世界大会は緊張し頭は真っ白、気がついたら終わっていた。しかし日本の大会では味わえない感覚を経験した。熱気にあふれる会場で「また必ず来たい」と決意した。目標に向かって進み始めた関君、この大会を通し、少し成長した姿が逞しく見えた。

バスケットボール 高校1年 赤穂さくらさん

第2回 FIBA U-17 女子バスケットボール世界選手権大会出場

(2012年8月17日~25日 オランダ・アムステルダムにて)

小学校2年生からバスケットを始めた赤穂さん。スラリとした長身の女の子で礼儀正しさが際立つ。本格的にやり始めたのは5年生。中学時代から活躍していたが昨年の夏はインターハイにも出場した。同じ夏、17歳以下で構成されるU-17の一員として世界大会に出場した。12人いるメンバーのうち、高1は4人。すでに2年間このメンバーでやっているのでチームワークはとてもよい。「海外に行くのも安心感があり、楽しく行けた。でも試合はとても緊張しました。」普段から練習の前に必ず自分に言い聞かせる言葉があるという。それは「自分に負けない」。その彼女に夢を聞いた。「オリンピックに出たいです。」迷いのない目でそう答えた。有言実行あるのみだ。



開会式会場にて

SHOWA GAKUIN

新・生徒会始動

平成25年の生徒会役員は昨年末の選挙で選ばれた人たちが、校長先生から任命を受け、活動を開始した。新役員の人たちはそれぞれの抱負を胸に、生徒会の円滑な運営に乗り出した。

| | | | |
|------|-------------|-------------|--|
| 会長 | 浅海 和也 (2D) | | |
| 副会長 | 阿部 美里 (2E) | 佐々 拓巳 (1C) | |
| 書記 | 齋藤 麻椰 (2D) | 塩田 紗理奈 (1K) | |
| 会計 | 宇佐見 香織 (2C) | 矢野 広真 (1I) | |
| 会計監査 | 岡田 一将 (2I) | 寺島 晃佑 (1H) | |

1月10日に任命式があり、新生徒会が活動を開始した。今後の抱負を、役員を代表して、生徒会長に聞いたところ、「今年の生徒会で、これからの新生昭学院の基礎を作り上げていきたいと思えます。その手始めとして、まずは今までの昭学院の枠にとらわれずに、昭和秀英をはじめ、近隣高校とも交流を図っていききたいと思っています。また高校生生徒会だけでなく、中学校生徒

会と連携し、中学生の意見もしっかり反映させることができるように努力していきます。生徒会は決して9人の役員だけではなく、生徒の皆さん一人一人が生徒会の一員であり、皆さんの協力が必要です。学校生活や行事などの希望や要望などがありましたら、いつでも気軽に生徒会役員に話しかけてみてください。意見箱も設置しているのでそちらも是非利用してみてください。皆さんで新しい昭和を作っていきましょう。」と語った。すでに、新生徒会は、耐寒スポーツ大会の企画をし、活動を始めている。今後の活躍にも期待したい。



ヤル気に燃える 新・生徒会メンバー

私学協会善行賞・市川善行賞決まる

高校生の安倍史織さん(3A)が今年度の私学協会善行賞に決まりました。安倍さんは、生徒会長として学校行事の様々な活動に携わりながらもボランティア活動部で施設訪問や福祉団体のお手伝いに積極的に参加しました。また、今年度の市川善行賞には鈴木雅子さん(3B)と石井香名さん(3D)、君塚美紀さん(3-4)と久保田沙里さん(3-5)が決まりました。みんな施設訪問や身近



市川善行賞 表彰式にて

なボランティア活動の啓蒙に積極的に取り組み、ボランティア活動部の中心的な働きをしました。これらの賞はボランティアに携わるみんなの励みです。拍手。

平成24年度 奨学会役員新年懇親会

平成25年2月2日(土)午後2時より、「新春の集い」と題して、浦安ブライトンホテルで恒例の奨学会役員新年懇親会が開催された。今年度も午前中の保護者会終了後、出席されるご父兄は各自会場までの移動に大忙しであった。当日は山本徹理事長を始め、井上俊彦中高校長並びに副校長、教頭の先生方が学校を代表して出席された。



八田会長ご挨拶

また、奨学会側として八田吉浩会長や役員、参事の方々合計62名の出席者で盛会であった。懇親会は池田総務部長の司会で進行し、参事の藤田高士様の開会の辞で和やかな雰囲気の中始まった。まず、奨学会会長の八田様、続いて山本理事長、井上校長らの御挨拶があった。御



井上校長先生ご挨拶

挨拶の中には、生徒数が順調に増えていく中、さらなる教育内容の充実をはかって昭和学院の益々の発展を祈願するという、力強いお言葉をいただいたり、八田会長を船長に例え、八田丸の門出を祝った御挨拶もあった。その後来賓紹介や先生方の紹介があり、玉野宗達様の乾杯の音頭で宴会となった。

どのテーブルも和やかな雰囲気の中、相互の親睦を深めるかのように話の花が咲いていた。そして、毎年恒例の抽選会が行われ、参加者の一喜一憂の声が会場中に響き渡っていた。その後平山勝様の中締めで懇親会は幕を閉じた。



テーブル席にて

SHOWA GAKUIN

高校バスケットボール部 ウィンターカップ第3位

去る12月23日～29日に広島県総合体育館にて第43回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会が行われ、県の予選会を優勝して出場した本校が第3位の入賞を遂げた。

インターハイで第3位となったことで決勝戦での桜花学園との対決が心待ちにされていたが、聖カタリナ女子と対戦した準決勝で62-79



▲3位が決まった瞬間の喜び



▲シュートを放つ小山さん

で敗れてしまい、3位決定戦にまわった。一度は皆落ちこんだが、キャプテンの西澤瑠乃さん(3H)は「監督の鈴木先生に『最後に勝って終われるのは1位と3位だけだ』と言われて、気持ちを持ち直し、メンバーにも伝えて切り替えて臨んだ」という。迎えた山村学園との3位決定戦、激しい攻防で最終ピリオドまで点差がつかず、とうとう残り14秒で同点に追いつかれた。このまま延長

戦に入るかと思われたが、残り0,9秒で小山真実さん(2H)のシュートが決まり、劇的な勝利を取めた。

期待の陰で、チームの不調や選手の故障など、大会までの道のりは決して順風といえるものではなかったようだ。また多くの部活動が夏の大会を最後に引退する中で、3年生は受験と両立しながら最後までチームを支えた。勝って終われたことで、その3年生は笑顔で引退を迎えられることとなった。またこの大会を通して、赤穂さくらさん(1H)が全選手の中からベスト5に選ばれ、今後もチームが活躍することを予感させる形となった。選手、並びに監督・関係者の皆さんに心からの拍手を送りたい。



▲ベスト5に選ばれた赤穂さん

【Voice 鈴木 親光 監督】



「東京以外で行われるのは初めてで、開催地の広島県では広島城や原爆ドームに近い会場で試合が行われました。苦しみながらも準決勝まで駒を進めることができ、聖カタリナに敗れましたが3位決定戦で山村学園と激しい試合の末、最後の最後に逆転し勝利できました。この結果を下級生達につなげてもらいたいと思います。」

春の全国選抜大会・都道府県対抗全国大会

○高校ハンドボール部男女 「第36回全国高等学校ハンドボール選抜大会」(3月25～30日静岡県・小笠山エコパアリーナ等)里見香代子新監督の新体制で挑む初の全国。

「チーム一丸となって全国で堂々とプレーし、どのチームよりも一番多く試合をすることを目指します」と力強く述べた。榎本志穂さん(2J)の動きに注目。また今回は男子が初出場を決め、インターハイ予選の雪辱を果たした。池畑大監督は「これまでの成果を発揮し、全力で戦ってきたいです。」という。花田昇悟君(2F)・



▲全国初出場を決めた男子ハンドボール部



▲ノームスを目指す新体操部

○高校新体操部「第28回全国高等学校新体操選抜大会」(3月18～19日佐賀県総合体育館)昨年度

は10位に終わったが塩屋恵子監督は「目標は“悔いのないノームスの演技”。メンタルスポーツなので本番に強いチームを目指しています。」と闘志を燃やしてる。

○高校ソフトテニス部女子 「第38回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会」(3月28～30日愛知県・日本ガイシスポーツプラザ)昨年度はベスト16だったが「インハイ5位を上回るベスト4以上を狙います。」と太田博勝監督。小学校から組んでいる齊藤香澄さん(2K)・浅川舞さん(2I)ペアに注目だ。

▶インハイ5位以上を狙うソフトテニス部



○中学ソフトテニス部男女 「第24回都道府県対抗全日本中学生大会」(3月26～28日三重県・伊勢市サンアリーナ)「千葉県選抜選手として誇りを持ち、男女優勝して新年度への弾みをつけたいです。」と県選抜チーム高原良枝監督。全日本U-14代表の永井亜佳莉さん(2の3)・齊藤利貴君(2の5)に期待。

○中学バスケットボール部女子 「第26回全国都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会」(3月28～30日東京都など各地)昨年も3人が県選抜メンバーとして出場し、準優勝だった。今年は赤穂ひまわりさん(2の4)・佐々木実莉さん(2の2)・小島彩さん(2の5)が選ばれた。「昨年以上の成績を目指す」と優勝を狙う。

高 3 進 路

主な合格大学一覧 (2月20日現在)

四年制大学

| | | | |
|----------|----|----------|---|
| 早稲田大学 | 1 | 東京有明医療大学 | 1 |
| 東京理科大学 | 3 | 東京女子体育大学 | 1 |
| 青山学院大学 | 1 | 東京電機大学 | 3 |
| 学習院大学 | 2 | 日本体育大学 | 4 |
| 中央大学 | 3 | 文教大学 | 1 |
| 法政大学 | 5 | 和洋女子大学 | 4 |
| 明治大学 | 4 | 神田外語大学 | 1 |
| 立教大学 | 2 | 工学院大学 | 3 |
| 立命館大学 | 1 | 国士舘大学 | 3 |
| 北里大学 | 2 | 城西大学 | 2 |
| 國學院大学 | 7 | 昭和女子大学 | 6 |
| 順天堂大学 | 4 | 女子栄養大学 | 2 |
| 昭和大学 | 1 | 東京家政大学 | 3 |
| 白百合女子大学 | 1 | 東京工科大学 | 1 |
| 千葉保健医療大学 | 1 | 明海大学 | 4 |
| 東邦大学 | 12 | 目白大学 | 1 |
| 専修大学 | 1 | 共立女子大学 | 1 |
| 明治学院大学 | 3 | 実践女子大学 | 1 |
| 明治薬科大学 | 1 | 淑徳大学 | 2 |
| 東京農業大学 | 2 | 城西国際大学 | 6 |
| 麻布大学 | 2 | 聖徳大学 | 7 |
| 駒澤大学 | 4 | 千葉科学大学 | 2 |
| 東洋大学 | 9 | 東京工芸大学 | 2 |
| 日本大学 | 11 | 東京情報大学 | 5 |
| 獨協大学 | 3 | 東京福祉大学 | 2 |
| 二松学舎大学 | 1 | 文京学院大学 | 2 |
| 武蔵野大学 | 6 | 麗澤大学 | 1 |
| 亜細亜大学 | 4 | 跡見学園女子大学 | 1 |
| 大東文化大学 | 2 | 江戸川大学 | 1 |
| 帝京大学 | 9 | 三育学院大学 | 1 |
| 東海大学 | 1 | 大正大学 | 1 |
| 学習院女子大学 | 1 | 千葉商大学 | 2 |
| 千葉工科大学 | 27 | 東京聖栄大学 | 3 |
| 帝京平成大学 | 12 | 流通経済大学 | 8 |

短期大学

| | | | |
|---------|----|---------|---|
| 昭和学院短 | 17 | 帝京短 | 2 |
| 青山学院女短 | 1 | 淑徳短 | 1 |
| 大妻女大短大部 | 2 | 聖徳女大短大部 | 1 |
| 共立女短 | 1 | 貞静学園短 | 1 |

専門学校

| | | | |
|----------------|---|-------------------|---|
| 東京警察病院看護専門学校 | 1 | 山野美容専門学校 | 2 |
| 日本医大看護専 | 1 | 大原法律専門学校 | 1 |
| 八千代リハビリテーション学院 | 1 | 東京YMCA社会体育・保育専門学校 | 1 |
| 千葉労災看護専門学校 | 1 | 日本スクールオブビジネス | 1 |
| 大原簿記専門学校 | 1 | 日本電子専門学校 | 1 |
| 東京自動車大学校 | 1 | 服部栄養専門学校 | 1 |
| 読売自動車大学校 | 1 | 了徳寺学園医療専門学校 | 1 |

合格者の横顔

合格者に①～⑤の質問をしました。①クラス・文理の別・氏名 ②現在までの合格大学・学部 ③努力したこと ④平均学習時間(平日・休日) ⑤後輩へのアドバイス



①3 A 理系 門井宏平 ②早稲田大学(人間科学部), 東京理科大学(理工学部), 中央大学(理工学部), 青山学院大学(理工学部), 明治大学(理工学部), 立教大学(理学部), 法政大学(生命科学部)

③センターのみで必要となった文系科目の学習。周りは気にせず自分のペースは崩さないようにした。④平日5時間, 休日12時間 ⑤数日は早いうちから練習を積めば, 入試でも大きな得点源になります。理科の基礎は暗記だけで固めず, 授業をきちんと聞き理解を深めることが大切。

①3 A 理系 大岩弘和 ②東京理科大学(理工学部), 中央大学(理工学部), 学習院大学(理工学部), 明治大学(理工学部) ③授業で習ったことはとにかく実際に解けるまで理解するようにした。予習より復習に重点を置いた。赤本に取り組んだ時には解説を見て, 自分が納得するまで手を動かして解き, 解説を見て解くことを繰り返した。④平日6時間, 休日10～14時間 ⑤受験勉強をしている時はつらく思う時もあります。しかし受験に合格した瞬間には今までとは違う世界が見られます。つらいほど合格した喜びは大きいものとなります。頑張ってください。



①3 A 文系 松井優奈 ②法政大学(文学部), 獨協大学(外国語学部), ③間違えた問題を繰り返し解く。④平日4時間, 休日11時間, 長期休み13時間 ⑤最後まで諦めず, 自信を持ち続けて下さい。英語が強いと絶対有利です。

①3 A 理系 高橋もも ②明治学院大学(法学部) ③数学の苦手分野をなくす。英単語の徹底。④平日4時間, 休日11時間, 長期休み12時間 ⑤英語は継続が大切です。先生について行けば必ず伸びます。第1志望だけ合格する人もいるので絶対にあきらめずに頑張ってください。



①3 B 文系 大西毅英 ②立命館大学(文学部), 法政大学(社会学部), 東洋大学(文学部) ③日本史や英単語, 古文単語などの暗記。定期考査で日本史の満点を目指した。④平日5時間, 休日10時間 ⑤塾や予備校などに通わなくても先生方がいるので心配ないです。夏休みと冬の追い込みが大切です。英語(特に長文)だけは必ず落とすとはいけない教科です。



①3 B 文系 木村壮吾 ②法政大学(経営学部), 國學院大学(経済学部), 日本大学(商学部), 駒澤大学(経済学部), 東洋大学(経営学部) ③日本史の時代の流れを意識して, 勉強に取り組んだ。④平日4時間, 休日12時間 ⑤英語の配点が高い大学が多く英語ができる人とできない人の差が大きく結果を左右し, 英語はできるようにしなければならないと思う。